

簡易懸濁可否情報共有システムのご紹介

簡易懸濁法研究会では、2010年7月1日よりインターネットを通じて簡易懸濁が可能かどうかの**情報（可否情報）**を投稿／検索できる、**会員専用**の Web システムを公開しています。本資料はその概要をご紹介します。

※画面／仕様は予告なく変更される場合があります。

1. 会員専用の Web システム

これまで簡易懸濁法研究会では、医薬品が簡易懸濁可能かどうかの情報（可否情報）について、会員用メーリングリストや、研究会ホームページを通じて公開してきました。この度、会員間でのより効率的な可否情報の共有を実現するため、これらの機能をインターネット経由で利用できる**会員専用**の Web システムに移行することにしました。

本システムの名称は「簡易懸濁可否情報共有システム」で、インターネットに接続された PC からホームページを参照するとき使用する Web ブラウザでアクセス、研究会に登録しているメールアドレスを入力することによって、URL とパスワードがメールで届き利用できる仕組みになっています。



【検索画面】
商品名や一般名での検索や、検索履歴を保持することができます。

【薬品詳細情報】

検索画面の薬品名をクリックすると詳細情報を確認できます。会員が可否情報を登録する場合は、関連ファイルを添付することもできます。



【可否情報の登録】
可否情報の登録では、医薬品、結果の選択等、簡単に登録できます。

パスワード発行



研究会に登録したメールアドレスを入力、届いたメールに記載されている URL からアクセスします。



2. システムの機能と目的

「簡易懸濁可否情報共有システム」では、マウスを中心とした比較的簡単な操作が可能です。

現時点で搭載している機能は、①可否情報の検索（経管投与ハンドブックの情報も検索可能）、②自施設で行った試験結果の投稿、③可否情報要望医薬品のリクエスト、④すでに登録されている可否情報について自施設でおこなった結果の追加、等があります。

基本的な可否情報を中心に、会員から寄せられた情報を追加することで、施設間で結果にバラつきのある薬品の

再検証や、実際の運用に役立つ情報を共有することを目的としています。

3. 可否情報のポータルサイトに

簡易懸濁法研究会では、「可否情報があれば、まずはここを見れば最新の情報が分かる」となるよう、本システムを育てていきたいと考えています。既存の研究会ホームページの会員専用スペースやメーリングリストに加え、本システムを活用しながら会員の皆様と一緒に情報を発信し、簡易懸濁法が正しく理解された上で実施・普及・発展することを願っています。

(2010.11. 簡易懸濁法研究会)